

# 「関西のインフラ強化を進める会」開催報告

(一社)近畿建設協会

近畿建設協会では、公益事業の一環として第8回委員会「関西のインフラ強化を進める会」を7月31日に開催しました。

今回は、(一社)2025年日本国際博覧会協会 梅村宏尚氏、(一社)世界文化遺産地域連携会議 井戸智樹氏による基調説明のほか、建設コンサルタンツ協会より、関西における2050年の交通インフラ等についての説明を行いました。



梅村氏



井戸氏

## 【主な意見】

- 竹内委員 尼崎、堺に駐車場を整備し、そこから万博へバスで輸送する計画であるが、船で輸送すること検討したい。また、昼間に運航されていないフェリーの活用も考えたい。
- 佐藤道委員 新技術の検討をしてほしい。自動運転技術をこの万博で導入するかべきか。また、酷暑対策を次の産業に繋がるようにできないか。トランスポートも考えていく必要があり、万博終了後も継続していくことが重要となる。
- 藤本委員 渋滞対策については、道路・鉄道も含めて総合的な情報提供を検討していく必要があるので、本会で議論していきたい。
- 前川委員 大阪には素晴らしい歴史や、博物館があるが大阪の人も全国の人も着目していない。ネットワークを繋げてもっと活用していくべき。
- 小林委員長 サプライサイドの話だけでなく、ディマンドサイドで考えていく必要がある。新しい発想でプロジェクトを考えていく必要がある。

## 議事次第

- ・ 2025年 大阪・関西万博  
(一社) 2025年日本国際博覧会協会 梅村宏尚氏
- ・ 歴史文化を活かす関西 - 百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産指定を契機に  
(一社)世界文化遺産地域連携会議 井戸智樹氏
- ・ 意見交換会
- ・ その他  
\* 2050ビジョン「多様な交通モードでシームレスな移動」

## 委員名簿

(委員長) 小林潔司 京都大学経営管理大学院 特任教授  
井戸智樹 歴史街道推進協議会 ネットワーク推進部長  
井上智夫 近畿地方整備局 局長  
上村多恵子 京南倉庫(株)社長  
小河保之 (株)URリンゲージ 参与  
神田彰 関西経済連合会 理事  
木谷信之 阪神高速道路(株) 取締役兼執行役員  
佐藤道彦 堺市 副市長  
佐藤泰博 産経新聞社大阪本社 編集企画室長  
清水喜代志 JR西日本 建設工事事務部 技術顧問  
正司健一 神戸大学 教授  
竹内廣行 (一社)2025年日本国際博覧会協会 副事務総長  
多田稔子 田辺市熊野ツーリズムビューロー会長  
成瀬英治 近畿地方整備局 副局長(港湾)  
藤本貴也 JAPIC国土・未来プロジェクト研究会 委員長  
前川秀和 西日本高速道路(株) 代表取締役兼副社長執行役員  
村上元伸 関西広域連合 本部事務局 事務局長  
八木一夫 近畿運輸局長  
山田忠史 京都大学経営管理大学院 教授  
若林陽介 三菱自動車工業(株) 管理本部 本部補佐長  
(事務局) 霜上民生 近畿建設協会 理事長  
(事務局) 吉津洋一 建設コンサルタンツ協会 近畿支部長

第9回委員会「関西のインフラ強化を進めるために」

日時：2019年12月4日(水) 17:00～

万博など議論深める

関西のインフラ  
強化を進める会

国や自治体、経済界、学識者ら関西の産学官で経済活動や防災・減災対策、観光振興に欠かせないインフラ整備について考える「関西のインフラ強化を進める会」(委員長・小林潔司京都大学経営管理大学院特任教授)は7月31日、大阪市中央区の大坂キャッスルホテルで第8回会合を開いた

写真。2025年大阪・関西万博について議論を深



めたほか、建設コンサルタント協会(建コン協)近畿支部が50年の多様な交通網で描く移動手段の提案などを行った。

会議ではまず、25年日本国際博覧会協会の梅村宏尚整備局局长が大阪・関西万博について講演。会場構想や津波対策、来場者輸送計画、インフラ整備計画などについて説明した。委員からは渋滞対策や船の活用についての質問が出た。「自動車運転転技術をどのように会

場に導入するかを検討してほしい」「暑さ対策について新技術を活用して次世代につなげるような提案を期待する」「万博のみならず

関西全体を見て、ピジターの宿泊や動かし方、関西の良さを味わってもらえるシステムを考える必要がある」「計画より来場者が増加した場合のさばきの計画の検討が必要」などの意見も出た。井戸智樹世界文化遺産地域連携会議世話役が「歴史

文化を生かす関西―百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産指定を契機に」を講演し、意見を交わした。

この後、建コン協近畿支部道路研究委員会が2050ビジョン「多様な交通モードでシームレスな移動(素案)」を説明。社会情勢の変化・技術改革によるモビリティの革命により、多様な交通モードでシームレスな移動が可能となるシミュレーションを提案した。